



今年度の港区民大学で  
講演する中条潮商学部教授

## 社会への知の還元——開かれた「生涯学習の場」の提供

義塾で日々生み出され、磨かれる叡智は、研究に基づく成果や、学問を修めた卒業生（塾員）らの活動などを通じ、さまざまなかたちで社会へと還元されていきます。そうした間接的な営みの一方、より直接的な社会貢献の取り組みといえるのが、一般の方々に向けた「生涯学習の場」の提供です。

義塾では、生涯学習の場の提供を重要な使命であると捉え、多くの人が幅広い分野の知識や教養に、気軽に触れられることを目指しています。その形態はさまざまで、より学術色の強いシンポジウムから、課程に籍をおいて学ぶ講義・授業、そして手軽に教養を深められる公開講座・講演会などがあります。

講義・授業形式では、通信教育課程、外国語教育研究センターでのプログラムや、塾生と一緒に大学の授業を履修する「科目等履修生」の制度などが用意されています。公開講座や講演会では、最先端の研究者はもちろん、ビジネスや芸術などさまざまなフィールドで活躍する塾員が、講師を務めることも珍しくありません。これは、多

くの卒業生が社会の第一線で活躍していることの証左であり、義塾ならではの強みと言えるでしょう。

公開講座のなかでも地域連携という点で特徴的なのが、東京都港区と共催の「区民大学」です。区内に在住、在勤、在学の方を主な対象に、6つの大学がそれぞれ開講しています。義塾の講座は年に一度、三田キャンパスで2日間にわたり4回の講演が行われるのが通例で、塾生、塾員などの義塾関係者は無料で受講が可能です。これまでに「アメリカ大統領とは誰か?」「英国王室」「アフリカは今」といったテーマで好評を博してきました。

昨年10月に開かれた今年度の講座では、「日本の空は変わったか」をテーマに、商学部の中条潮教授のほか、日航と全日空の方々<sup>（ちゅうしやうしお）</sup>が講演を行いました。各日100名ほどの受講者が集まり、熱心に講師の話に聞き入る姿が見られました。

この他にも有償・無償合わせて年間300件ほどの講座、講演が開催されています。興味のあるテーマの際は、足を運んでみてください。